

# 日・中・韓 3 国の公務員が新たな協力のかたちを模索 ～日・中・韓公務員 3 国協力ワークショップ～

ソウル事務所

## 1 はじめに

2012 年 12 月 8 日（土）に、ソウル市内で、韓国外交通商部（日本の省に相当）主催による「日・中・韓公務員 3 国協力ワークショップ」が開催されました。これは、韓国に勤務又は研修中の日本人及び中国人公務員、そして韓国人公務員が参加するワークショップを開催し、3 国間協力に対する理解の向上、3 国間の自治体での協力、発展方案の模索、そして 3 国間ネットワークの形成の支援を目的としています。今回が初めての開催となりましたが、日・中・韓の公務員が総勢 89 名（日本 27 名、中国 21 名、韓国 41 名）参加しました。クリアソウルはこのワークショップに協力し、韓国駐在の日本人公務員の参加に係る調整などを行いました。

## 2 ワークショップの概要

ワークショップの概要は以下のとおりでした。朴俊勇（パク・ジュンヨン）外交通商部北東アジア局長の挨拶及び各国の来賓による祝辞のあと、第 1、第 2 の各セッションのテーマに基づいた事例発表が行われました。

開会式		
挨拶	朴俊勇	外交通商部 東北アジア局長
祝辞	金元辰	行政安全部 国際行政発展支援センター長
	安本俊夫	自治体国際化協会 ソウル事務所長
	冯春台	駐韓中国大使館 参事官
	毛寧	3 国協力事務局 事務次長
第 1 セッション 「自治体間の協力を通じた 3 国間協力発展方案」		
北東アジア地方自治体間の協力と NEAR 事務局	呉海日	NEAR（北東アジア地域自治体連合）事務局 国際協力課長
鳥取県に見る東アジア 3 国間の地方交流の成功事例	井上智幹	東アジア地方政府観光フォーラム（鳥取県派遣）
日中韓における民間文化交流の新しい道 -3 国自治体間における無形文化遺産の保護と協力	葉永峰	大田広域市西区 （浙江省温岭市派遣）
影島区における日中韓の交流と発展方向	金敬得	釜山広域市影島区

第2セッション 「各分野における3国間協力の発展方案」		
3国間協力のビジョン及び発展方案	李志鎔	国立外交院教授
石川県の友好交流地域間における青少年交流事業について	正和潤子	全羅北道（石川県派遣）
3国の基礎教育分野における教師の相互交換	严承武	江原道（吉林省图们市派遣）
3つの地域（京畿道・遼寧省・神奈川県）における友好交流の協力事業 -青少年国際スポーツ交流など	金泰秀	京畿道
長崎県における国際人材について -長崎県における中国・韓国関係国際人材の育成・活用の現状及び今後の展望	坂庭雅史	自治体国際化協会ソウル事務所（長崎県派遣）

### 3 日本の発表者の発表内容

日本からは3名が発表を行いました。まず、第1セッションでは、東アジア地方政府観光フォーラムの井上智幹氏（鳥取県派遣）が、「鳥取県に見る東アジア3国間の地方交流の成功事例」と題して発表を行いました。その中で、鳥取県は、韓国江原道との間で1994年に友好提携を締結し、教育や環境などさまざまな分野で交流が行われていることが紹介されました。また、中国との関係について、吉林省との間で1994年に友好交流の覚書を締結し、また、河北省との間で1986年に友好県省を締結しており、長きにわたり経済、スポーツなどの分野で交流が行われているとの説明がありました。



井上智幹氏の発表の様子

第2セッションでは、全羅北道の正和潤子氏（石川県派遣）が、「石川県の友好交流地域間における青少年交流事業について」と題して発表を行いました。その中で、石川県が友好交流地域へ県内の青少年を派遣し、両国の相互理解と友好を促進することを目的に実施している「21世紀石川少年の翼」について説明がありました。韓国全羅北道との間では1986年から、中国江蘇省との間では1996年から現在に至るまで青少年の派遣が実施され、ホームステイや学校訪問などを通じて交流を深めていることが紹介されました。



正和潤子氏の発表の様子



坂庭雅史氏の発表の様子

次に、自治体国際化協会ソウル事務所の坂庭雅史氏（長崎県派遣）が、「長崎県における国際人材について～長崎県における中国・韓国関係国際人材の育成・活用の現状及び今後の展望～」と題して発表を行いました。その中で、長崎県は、韓国との間では、釜山広域市、慶尚南道、全羅南道及び済州特別自治道の4自治体と日韓海峡沿岸県市道交流知事会議に基づき友好交流を行い、また、中国との間では、福建省との友好県省に基づく交流や、

上海市及び湖北省と友好交流を行っていることが紹介されました。また、中国や韓国に精通した人材育成のために、両国の大学での語学研修や、在中国日本国大使館やクレアソウル事務所に職員を派遣し、帰国後に国際関係部署に配置していることなどの説明がありました。

#### 4 中国及び韓国の発表者の発表内容

中国の発表者からは、日・中・韓各国が伝統芸能などの無形文化遺産の発掘や保護を行うとともに、それらを利用した新しい文化交流の提案がありました。また、未来を担う学生たちが正しく3国間の相互理解を行うには、まずは教師の教育が重要であり、3国間で教師の相互派遣を行い、各国の文化や習慣を理解する必要があると訴えていました。

韓国の発表者からは、釜山広域市影島（ヨンド）区における、姉妹都市である長崎県対馬市や中国上海市黄浦区との文化交流や青少年交流の事例が紹介されました。また、京畿道における、友好交流を行っている神奈川県と中国遼寧省との間での3地域友好交流会議や青少年国際スポーツ交流について説明がありました。

#### 5 おわりに

このワークショップは今回初めての試みでしたが、日・中・韓3国の公務員が一堂に会し、それぞれの自治体間交流の事例についての発表を聞くことができました。特に、日本人参加者にとっては、韓国と中国の間の交流事例は、韓国にいながらもなかなか聞けない貴重な内容であったと思います。

国家間の関係が何かと取りざたされる現在ですが、そういった中でも自治体レベルの草の根交流は絶やしてはいけない、それがこのワークショップの参加者の総意であるように感じました。

(松崎所長補佐 愛媛県松山市派遣)